

## 青少年赤十字 国際交流で異文化に触れる

～マレーシアの3名の生徒が兵庫県で交流を図る～

9月12日(木)から18日(水)まで、近畿ブロック合同青少年赤十字国際交流事業として、マレーシア赤新月社から17名の指導者や生徒(メンバー)が来日しました。

当支部へは、内メンバー3名が来訪し、親和中学校と兵庫県立国際高等学校の青少年赤十字メンバー宅にホームステイ。学校の授業や剣道等を体験するなど日本の文化や暮らし、食事の違いなど驚くことばかりでしたが、家庭でも学校でも大歓迎を受け、来日直後の緊張は徐々に解れ、フレンドリーな時間を共有することができました。

また、両国の青少年赤十字メンバー等による京都の嵐山での国際交流集会では、三角巾を使ったきずの手当、相互理解を深めるためのプレゼンテーション、マレーシアの踊りや日本の昔あそびに大いに盛り上がりました。

台風18号の影響であいにくの天候でしたが、両国のメンバーが協力して二尊院や渡月橋を回ったフィールドワークでは、会話が途切れることなく、とても楽しい時間をすごすことができました。他にも、象嵌のアクセサリや和菓子作りを体験。特に、甘くて見た目のきれいな和菓子はマレーシアメンバーに好評で、出来上がったお菓子を抹茶とともにいただくなど、美味しい日本文化にも触れることができたのではないかと思います。

この7日間の国際交流事業を通じて、次代を担うメンバーたちの友好・親善の輪がさらに大きく広がっていくことを願っています。



腕の吊り、ばっちりできました



国際交流集会の様子



二尊院を散策

## 青少年赤十字提供プログラム実施校(8月、9月)

青少年赤十字提供プログラムは、救急法や点字の体験、災害救護活動や海外救援活動などの講演を、特別赤十字奉仕団などのご協力を得ながら、青少年赤十字加盟校で楽しく、分かりやすく、お伝えします。

生命の大切さやボランティアの心を養い、人としてのやさしさを育むために、赤十字の提供プログラムをご利用ください。

8・9月にご利用いただいた学校(順不同)

- 防災教育  
姫路市立林田小学校
- 健康・安全(AEDを使った心肺蘇生等)  
西須磨幼稚園  
神戸市立有野中学校  
兵庫県立明石城西高等学校  
西脇市立西脇小学校

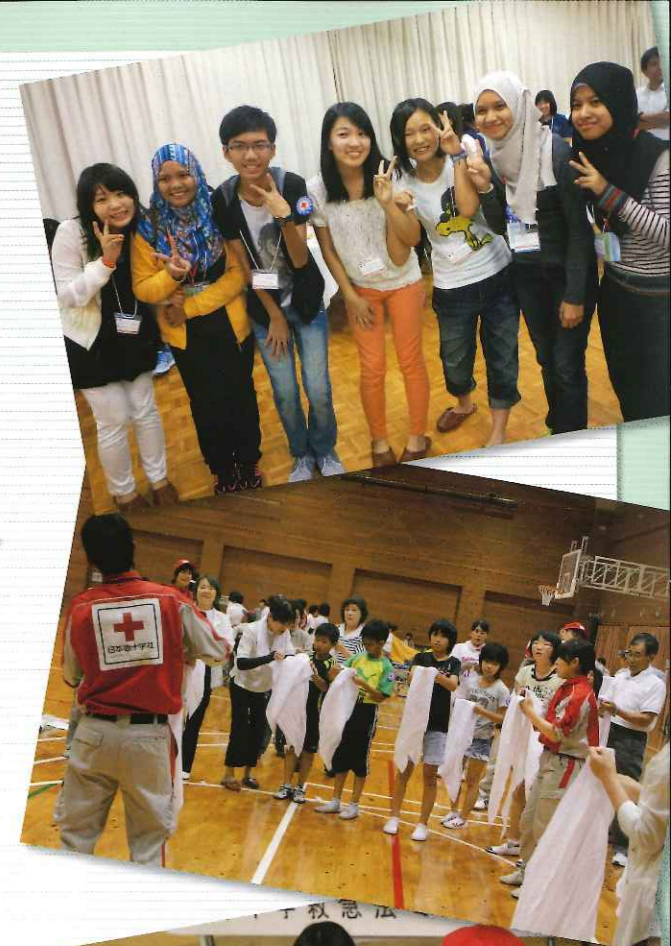


西須磨幼稚園

# ひょうごの赤十字

2013 OCTOBER 10月

- 活動資金にご協力ください
- 災害への備え!防災週間に合わせ県内各地で訓練を実施
- あなたにも救えるいのちがある。救急法普及イベントを開催
- 平成25年度兵庫県献血功労感謝のつどい
- 国際交流で異文化に触れる
- 青少年赤十字提供プログラム実施校(8月、9月)



### 活動資金にご協力ください

～皆さまのご支援が、いのちと健康を守る活動を支えています～

地域の皆さまの安全・安心を図るため「街角の赤十字」として兵庫県内の警察署、交番等755ヶ所に設置している救急箱とあわせ、平成23年度からは7カ年計画で140台のAEDを警察署等に設置するなど、皆さまからお寄せいただいた資金はいのちと健康を守る皆さまの身近な活動に活かされています。



郵便振込で

口座番号:01110-0-1136  
口座名義:日本赤十字社兵庫県支部  
(窓口振込により手数料は免除されます)



銀行振込で

銀行名:三井住友銀行神戸営業所  
口座番号:普通口座8527478  
口座名義:日本赤十字社兵庫県支部  
(振興課にて専用振込用紙をご請求ください。)



お電話で

◇活動資金に関するお問合せ  
078-241-8921  
(兵庫県支部 振興課)



**日本赤十字社** 兵庫県支部  
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区臨海海岸通1丁目4番5号  
TEL.(078)241-9889 FAX.(078)241-6990  
<http://www.hyogo.jrc.or.jp/>



—「防災の日」と「防災週間」—

9月1日は「防災の日」、防災の日を中心とする1週間は「防災週間」です。広く国民が防災や災害について認識を高めることを目的に、政府や地方公共団体をはじめ防災関係機関が、防災知識の普及のため防災訓練等を全国的に展開しています。



毛布も非常時には搬送資材に



車椅子の操作を体験

○西播磨地区

8月23日(金)、兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンターにおいて西播磨赤十字奉仕団研修大会が開催されました。

この大会は、西播磨地域の住民の皆さんの健康・安全を守り、万一の災害発生時には直ちに活動できるよう毎年開催しています。本年度は佐用町赤十字奉仕団が担当し、西播磨地区の3市3町(相生市、たつの市、赤穂市、太子町、上郡町、佐用町)の奉仕団、佐用町の連合自治会や青少年赤十字加盟校の小学校6年生、佐用高等学校の生徒など194名が参加しました。

非常食の炊出し、テントの設営・撤収訓練をはじめ、AEDを使った心肺蘇生、毛布や竹竿を使った担架搬送、車椅子操作、三角巾を使ったきずの手当などの訓練に取り組みました。参加者からは、「毎年研修を行うことで体得でき、万一の時にも直ぐに行動に移せる」といった声も聞かれました。



炊出し釜の取り扱い訓練



ワンタッチテントの設営

○香美町分区分

香美町分区分では、9月7日(土)に小代高齢者生活支援センター「いこいの里」において地域赤十字奉仕団災害救護実践研修訓練が開催されました。香美町赤十字奉仕団の皆さん等約50人が参加し、非常食の炊出しやテントの設営訓練をはじめ、無線機の取り扱い訓練、応急救護訓練としてAEDを使った心肺蘇生などが行われました。

○兵庫県・播磨広域・姫路市合同防災訓練



メイン会場の救護所に運びこまれる負傷者

また、9月1日(日)には、姫路市夢前スポーツセンターをメイン会場、姫路市立前之庄小学校などをサブ会場とし、震度7の山崎断層帯地震を想定した防災訓練が開催され、兵庫県支部をはじめ、姫路赤十字病院、多可赤十字病院の救護班が参加しました。

メイン会場では前日から降り続いた雨の影響でグラウンドは池の様な状態の中、参加者全員がずぶ濡れになりながらも、救護所の設営、負傷者の受入れなど実践さながらの訓練を展開。また、サブ会場では住民参加型の訓練が行われ、参加住民の皆さんの応急救護所役としても一役を担いました。

○台風18号の大雨等被害に対する兵庫県支部の対応

9月13日午前3時に小笠原諸島近海で発生した台風18号の影響により、近畿地方では16日の明け方に局地的に激しい雨と風に見舞われました。

兵庫県支部では、9月16日早朝から職員3名が待機し情報収集を行いました。幸い県内で大きな被害はなかったほか、近隣府県支部からも各府県単位で対応可能ということで救援物資等の応援要請はありませんでした。

9月15日(日)、ワールド・ファースト・エイド・デー(世界救急の日)の一環として、イオン明石ショッピングセンターで救急法ミニ講習イベントを開催しました。

イベントでは、指導員のもと、約15分間で人工呼吸、胸骨圧迫、AEDを用いた除細動の方法を参加者の皆さんに体験していただいています。

11時から16時のイベント終了まで、絶え間なく来場された方々はなんと76名!

また、周囲では買い物客の皆さんが興味を持って見ておられました。「子どもに体験させてやりたい」と参加された親子、「正しい知識が得られて良かった」と満足そうに話された方々など、多くの市民の方々に心肺蘇生やAEDの知識と技術を伝えることができました。

—ワールド・ファースト・エイド・デー(世界救急の日)—

赤十字では、世界中の人に「ファースト・エイド」(救急法)を知ってもらうため、9月の第2土曜日を「ワールド・ファースト・エイド・デー」と定め、日本国内をはじめ、世界各地で救急法の普及活動を行っています。



気道確保はうまくできるかな



心臓マッサージに挑戦!

8月22日(木)、兵庫県公館で「献血功劳感謝のつどい」を開催しました。

献血運動等のより一層の推進を目的に、毎年、兵庫県・兵庫県献血推進協議会・公益財団法人兵庫県健康財団・日本赤十字社兵庫県支部・兵庫県赤十字血液センター合同で開催しており、永年にわたり血液事業等の進展に功績のあった団体、個人の皆さまに日本赤十字社有功章等の贈呈、厚生労働大臣表彰状及び感謝状、兵庫県献血推進協議会長(知事)感謝状を伝達しております。

今年は、献血推進活動と造血幹細胞バンク事業に功劳のあった255団体と8人の皆さまが受賞されました。また、厚生労働大臣表彰を受けられた2団体には活動内容を発表していただき、献血運動についてのご理解をより深めていただくことができました。

輸血用血液の更なる安全性向上を目指すとともに、一人でも多くの尊い命を救うことに邁進してまいりますので、今後とも献血へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



表彰を受けられる受賞者の皆さん